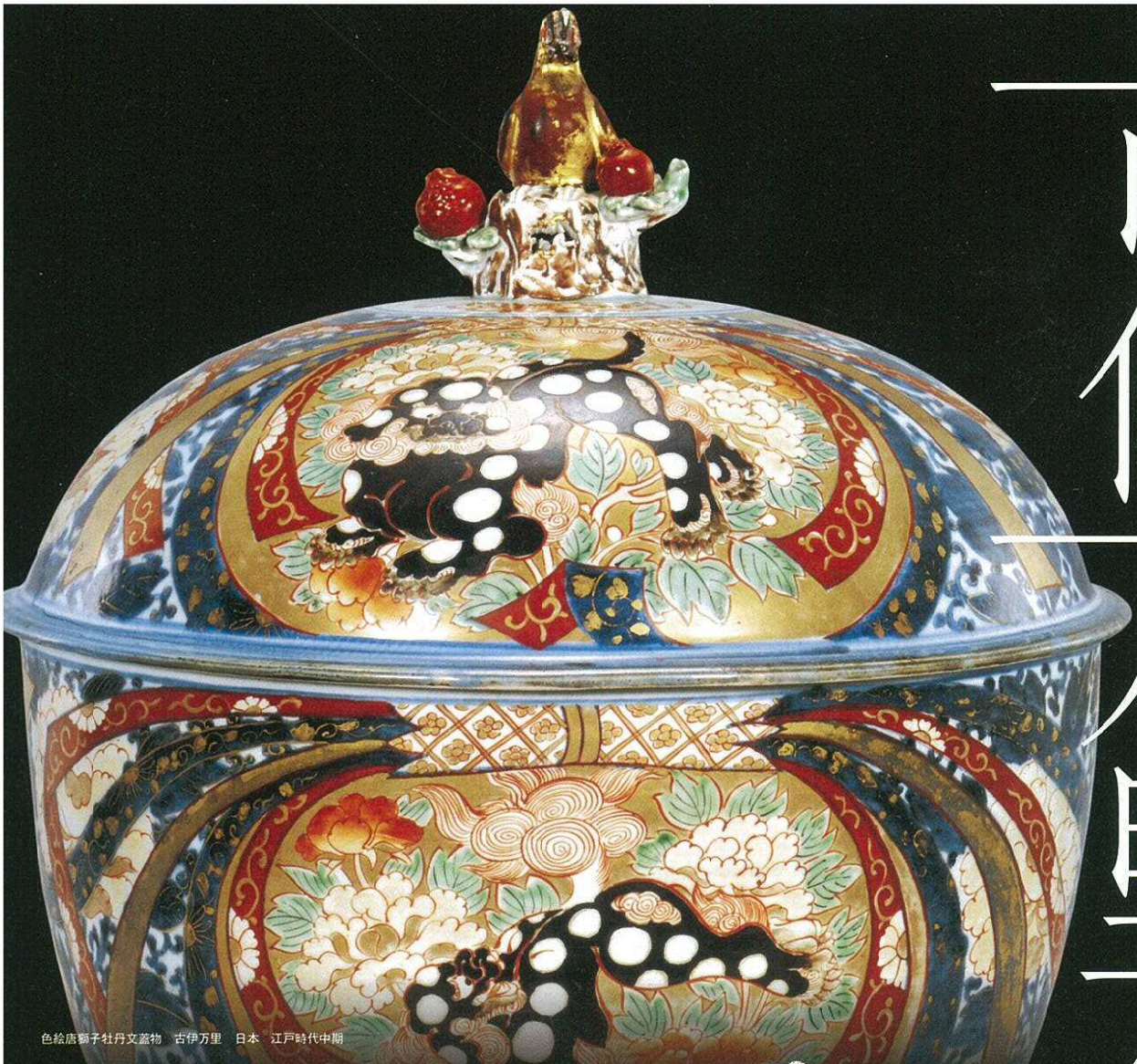
古伊万里の世界

The World of Ko-Imari



色絵唐獅子牡丹文蓋物　古伊万里　日本　江戸時代中期

色絵荒磯文鉢（二客の内）　古伊万里　江戸時代中期

色絵樽乗西洋人物酒器　古伊万里　江戸時代中期

2017年 4月7日（金）→6月11日（日）

◎開館時間／午前10時～午後５時（入館は午後４時30分まで）
◎休館日／毎週月曜日
◎入館料／一般700円、高・大生500円（団体10名以上、各200円引）、中学生以下無料（ただし保護者の同伴が必要）
　※障害者手帳をお持ちの方は200円引、その介護者１名は無料
　※〈出光創業史料室〉のみのご利用は、一般100円／中学生以下無料
◎講演会／5月13日（土）午後2時～3時30分
　会場・当館イベントホール　演題・「世界を魅了した古伊万里の魅力」
　講師・八波浩一（出光美術館学芸課長代理）　予約・定員120名、聴講料800円
◎列品解説／第２、第４日曜日　午前11時～、午後２時～
◎主催／出光佐三記念美術館、出光美術館、毎日新聞社　◎協賛／出光興産株式会社

出光美術館 門司
Idemitsu Museum of Arts, Moji

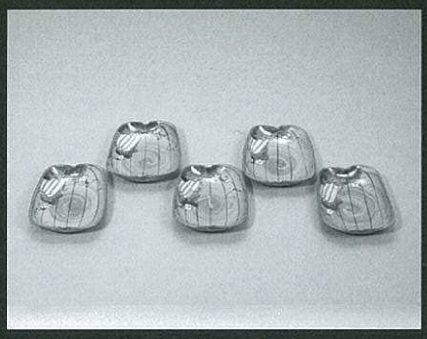
古伊万里の世界

赤や藍、緑や黄の鮮やかな彩色に金を加えた豪華絢爛な装飾が美しい、九州発の色絵磁器「古伊万里」。これらは海を渡り、ヨーロッパの王侯貴族を魅了した日本陶磁の代表として広く知られています。また九州各地では、古伊万里以外にも独特の作風を示すやきものが数多く生み出されています。本展では、華麗でエキゾチックな古伊万里、斬新なデザインの上野焼、瀟洒な美をたたえる現川焼など、華麗で豊潤な九州陶磁の美の世界をお楽しみいただきます。

①

②

③


④

①色絵美人文共蓋大壺（一対）古伊万里 江戸時代中期
②色絵花籠手花卉文大皿 古伊万里 江戸時代中期
③色絵牡丹唐草文徳利 江戸時代後期 上野窯
④色絵刷毛目藤文皿（五客）江戸時代後期 現川窯

展覧会スケジュール〔2017. 4－2018. 3〕

2017 4

「古伊万里の世界」 2017年4月7日〔金〕→6月11日〔日〕

開催中

2017 6

「板谷波山とアール・ヌーヴォー ― 近代陶芸の美」 2017年6月16日〔金〕→8月13日〔日〕

明治維新を経て新しい時代を迎えた近代日本。陶芸の世界にも新しい風が吹きます。その代表的な陶芸家の一人が、板谷波山（1872～1963）です。波山は、19世紀末にヨーロッパで流行したアール・ヌーヴォー様式のみならず、東洋的な意匠や造形についても研究をかさね、東西の美を融合させた新たな表現を展開しました。本展では板谷波山、アール・ヌーヴォーの代表的な作家・エミール・ガレらの作品を通して近現代陶芸の魅力をご紹介します。

2017 8

「京みやび ― 仁清・乾山と色絵の競演」 2017年8月25日〔金〕→10月22日〔日〕

やきものの世界において「京焼」の名称があるとおり、京の町をおおう伝統的な「みやび」の感覚は、今もなお都ならではの艶やかな美意識の象徴となっています。現代にも通じるこの華やいだ感性は、17世紀に野々村仁清が築いた新しい造形観や18世紀に尾形乾山が学び表現した中国・西欧の色彩感覚とあいまって、その後の規範となっています。本展では、歴史ある京都の文化と芸術が長年にわたって育んだ色彩美を、仁清・乾山らやきものの優品により紹介します。新たな視点から、和の情緒の豊かさが再発見できる展覧会です。

2017 10

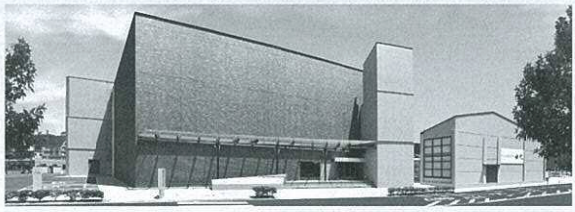
「古唐津」 2017年10月27日〔金〕→12月17日〔日〕

桃山陶芸を代表する古唐津。初代館長である出光佐三は古唐津をこよなく愛し、「絵唐津丸十文茶碗」に格別の価値を見出して大いなる愛情を注ぎました。以来、出光コレクションには多くの古唐津の優品が集っています。野武士のようにどっしりとした風格、重厚感あふれるうつわの肌、そしてそこに添えられる軽妙な絵付けが見事に融け合って、日本の情緒になじむ独自の世界をかもしています。本展では、茶陶の逸品、懐石具や酒器など幅広く展観します。

2018 1

「唐物と茶の湯」 2018年1月12日〔金〕→3月25日〔日〕

中国から日本へ茶が伝来したのは奈良時代末ごろ。鎌倉・室町時代には喫茶の風習の流行に伴い、「唐物」と称される中国渡来の品々が、茶道具として珍重されます。桃山時代には侘び茶の流行とともに高麗茶碗や和物のうつわが流行しますが、唐物は江戸時代以降も武家の茶の湯・儀礼具として大切に扱われてきました。本展では、茶の湯の世界における美意識の形成に果たした唐物を紹介し、それらの役割・価値観の変遷を見ていきます。



【交通】
JR門司港駅より徒歩8分
（門司港レトロ地区内、レトロ駐車場前）

出光美術館 門司

〒801-0853　福岡県北九州市門司区東港町2-3
【TEL】093-332-0251
【開館時間】午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
【休館日】毎週月曜日（ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館）年末年始および展示替期間
【入館料】一般700円/高・大生500円（団体10名以上、各200円引）
中学生以下無料（ただし保護者の同伴が必要）
＊障害者手帳をお持ちの方は200円引、その介護者1名は無料
＊〈出光創業史料室〉のみのご利用は、一般100円/中学生以下無料
【URL】http://www.idemitsu.co.jp/museum

Idemitsu Museum of Arts, Moji

2-3, Higashi-minatomachi, Moji-ku, Kitakyūsyū-shi,
Fukuoka, 801-0853
【Tel】093-332-0251
【Open】10:00a.m.-5:00p.m.(Entrance Until 4:30p.m.)
【Closed】Monday (The museum will be open when Monday is a national holiday.), the year-end and New Year's holidays, and for change of exhibits.
【Admission】
Adults ¥700/High School & University Students ¥500 (Groups 〈10 or more〉 ¥200 Discount)
＊¥200 Discount for Persons with Disability
(with Presentation of the Physical Disability Certificate and Free Admission for 1 Caretaker).
【URL】http://www.idemitsu.com/museum